

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・お中元ギフト目的やインバウンドの来客数が増加している。
	○	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は95％と苦戦している。外国人観光客の売上も想定より伸びていない。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部長）	来客数の動き	・文具の売上が前年比で5％増加となっている。観光客数が増えたことによる影響が大きい。
	○	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・お盆休みの帰省や観光、夏休みの影響で来客数が少し増えたとみられる。
	○	その他飲食店 〔ファーストフード〕（総務部）	来客数の動き	・大型レジャー施設開業の影響もあり、入域観光客数の増加による来客数の増加が売上をけん引している。
	○	観光型ホテル（総支配人）	単価の動き	・夏から秋にかけて前年同期の販売単価を上回る状況が続いている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・前年度と比較して、平日の来客数が伸びている。また、インバウンドの来客数が増加傾向である。
	□	一般小売店 〔酒〕（店長）	競争相手の様子	・食品の物価高は止まらず、飲食店も値上げが続き、飲食チェーン店の倒産、廃業も相次いでいる。
	□	スーパー（店舗管理）	お客様の様子	・天候不良による夏野菜の価格高騰が止まらず、通常価格での販売が伸び悩み、消費者の購買は特売日にシフトしている。お盆商戦も9月にずれ込んでおり、例年どおりの数字は見込めない。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価に大きな変化がみられないため、景気は横ばいとみている。
	□	コンビニ（経営企画担当）	単価の動き	・売上は増加傾向だが、来客数の減少が続いている。値上げによって売上がカバーされている状況である。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・夏休みに入って来客数は増加したが、物価高の影響により販売量はそれほど伸びていない状況である。
	□	乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・夏のイベントも大盛況である。
	□	旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・休みを取り旅行するのではなく、休日や祝日を絡めての見積依頼が多いため、旅費が割高になる。情報だけを仕入れて自分で予約する客も見受けられる。購買意欲はあるが代理店の利用がなければ売上はあがらない。
	□	住宅販売会社（役員）	競争相手の様子	・大型レジャー施設開業に伴い、県外からの来訪者も多くにぎわいもあるが、新築物件の売行きにまだ変化はみられない。
	□	住宅販売会社（営業担当）	単価の動き	・建設関連の単価が高値で安定している。
	▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・今年の旧盆が9月にずれ込んだため、売上動向を正確に比較するのが難しい状況であるが、前年の旧盆前の時期と比べると、売上は前年と同じ水準を維持している。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・猛暑の影響で飲料品やアイス等の売上が増加している。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が伸びてこない。
企業 動向 関連 (沖縄)	▲	通信会社（サービス担当）	来客数の動き	・新料金プランの発表が一段落したことで、来客数が前月より減少傾向にあり、販売機会が縮小している。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・5月の販売室数が前年比24％増加なのに対し、8月は前年比3％減少となっている。
	◎	－	－	－
企業 動向 関連 (沖縄)	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業他社からも受注の先行きに関して、前向きの発言が多く聞こえる。
	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べ、増収増益である。

	☐	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・変わらず観光関連は好調に推移している。一方、今年の旧盆は9月になる影響か、もしくは物価高の影響により、消費者の動きが例年になく低調である。
	☐	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積依頼は民間工事が若干増加傾向にあるが、受注状況に大きな変化はない。
	☐	輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・発注数等の変動がない。
	☐	会計事務所（所長）	それ以外	・県内の観光業を中心に活況であるが、雇用者の給与などへの還元が浸透しているかどうか不透明である。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	☐	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件に対して応募者数が少なく、人手不足感は変わらない。
	☐	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が前年同月比で増加している。
雇用 関連 (沖縄)	☐	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・2026年卒向け求人数は、前年の同時期より減少している。一方、2027年卒向けのインターンシップの案内が増えている。
	☐	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・雇う側は、物価高騰の継続に加えて、人件費の高騰によりひっ迫しているようにもみられる。バランスが取れてくるまでは、しばらく危機感が続くものとみられる。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・8月は観光シーズンがピークを越える時期となり、ホテルや飲食、レジャー関連の求人数が減少傾向にある。
	×	—	—	—